山形県環境保全協議会

令和５年度山形県環境保全推進賞受賞企業

山形県知事賞	株式会社原田瓦工業・株式会社秋葉アトリエ
	株式会社丸定
環境保全推進賞	株式会社伊藤製作所
	花王株式会社酒田工場
	有限会社家具のヤマヒョウ
選考委員特別賞	水澤化学工業株式会社水沢工場

環境保全推進賞山形県知事賞

株式会社原田瓦工業（酒田市）・株式会社秋葉アトリエ（山形市）

株式会社原田瓦工業　　屋根工事業 代表取締役　原田 誠
株式会社秋葉アトリエ 建築設計業 代表取締役　秋葉 圭史

＝使用済み瓦のリサイクル活用＝

株式会社原田瓦工業は、2004 年に自社内に使用済み瓦のリサイクルセンターを構築し、瓦リサイクル製品の開発を開始しました。使用済み瓦を破砕して固めた「シャモットブロック」は山形県リサイクル認定製品になっております。

株式会社秋葉アトリエは、瓦リサイクル製品の企画・デザインを株式会社原田瓦工業と連携しながら行い、瓦粉末からさらに微細粉末（瓦パウダー）を取り出し建物の外壁、内壁またインテリアの一部として活用するアイデアに挑戦し「瓦壁」として実用化に成功しました。

使用済み瓦のほとんどが埋立処分となっている現状を改善し、有価の資材として創出することにより、廃棄物の削減に寄与しています。

プラントシャモット：廃瓦リサイクル

出羽園：瓦壁(廃瓦＋樹脂)吹付仕上げ

湯坊いちらく 桜桃庵：瓦壁(廃瓦＋土)掻き落し仕上げ

庭園喫茶 錦：瓦壁(廃瓦＋樹脂)金鏝仕上げ

環境保全推進賞山形県知事賞

株式会社丸定（米沢市）

製造業　代表取締役社長　佐藤　良喜

＝循環型事業活動を通じたSDGsと地域との共生へ繋げる取り組み＝

段ボール製造加工事業での製品はほぼ100%リサイクル可能な包装材であり、その古紙回収率は95%以上になります。また、プラスチック段ボール商品で、単一素材のものは100%リサイクル可能であり、廃材は減溶機でインゴット化しリサイクル活用されております。

本社工場の蛍光灯を段階的にＬＥＤに更新し、デマンド監視の実施など省エネ活動にも取り組んでおります。また、工場周辺の除草作業の実施や、地元秋祭りにて、「段ボールベッド&段ボール模型工作」を出展しました。その他、米沢市が推進している米沢品質向上運動に登録し、活動に参画しております。

自然災害が増えている昨今において、避難時用の体にやさしい段ボールベッドを開発。

天板は段ボール、脚は紙管で作成したALL紙製の物流パレット。プラスチックパレットに比べて、廃棄時のCO2排出量を削減できます。

コロナ禍の必需品である飛沫防止パーテーションを段ボールで作成。

米沢市の秋の恒例イベント「なせばなる秋まつり」内で行われたSDGsワークショップをきっかけに、米沢牛とお鷹ぽっぽの段ボール模型工作キットを開発。

環境保全推進賞

株式会社伊藤製作所（山形市）

汎用機械器具製造業　代表取締役社長　伊藤　明彦

＝サステナブルな生産工場の実現～カーボンニュートラルへの第一歩～＝

2017 年、山形市みはらしの丘へ工場を全面移転し、生産効率を最大限に高めたことで、生産活動における CO2 排出を約 20%削減しました。また、2021 年に自家消費型太陽光発電設備を導入し、工場で消費される電力の最大 50%を賄っております。2022 年に加工設備全台にオイルミストコレクターを導入し、工場内の働く環境を改善することで過剰な換気を減らし、空調機の使用時間、使用台数の大幅な削減につながりました。また、工場内には電気使用量や CO2 換算量の可視化装置があり、一人一人が取り組める省エネ活動にも力を入れております。

みはらしの丘へ工場を全面移転

移転後の工場内

自家消費型太陽光発電設備の導入

加工設備全台にオイルミストコレクターを導入

環境保全推進賞

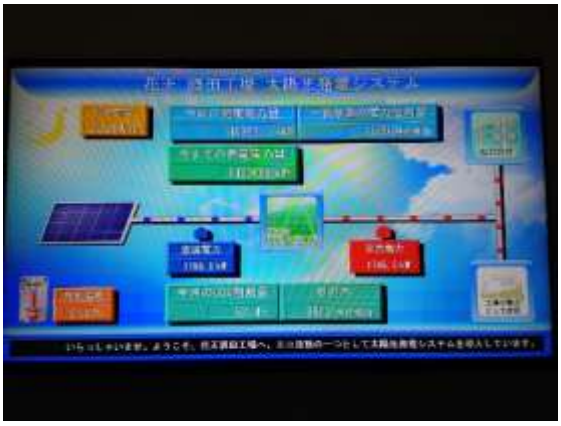
花王株式会社酒田工場（酒田市）

化学工業　工場長　佐藤　誉之

＝「豊かな共生世界」の実現を目指して＝

1887 年創業以来、人々の暮らしに寄り添うことで豊かな生活文化の実現を目指してきました。2017 年から「自ら変わり、そして変化を先導する企業へ」をスローガンに掲げ、持続可能な社会に必要な３つの要素「ESG（環境・Environment、社会・Social、企業統治・Governance）」を経営の根幹に据え、「グローバルで存在感のある会社」を目指しています。酒田工場は、1940 年に国内２番目の工場として操業を開始し、サステナビリティに貢献するために、廃棄物削減や温室効果ガス排出量削減等の活動に取り組み、2021 年に、グループ最大規模の 2.8MW の自家消費型太陽光発電設備の運用を開始しました。また、環境保全活動として、やまがた絆の森「花王の森おおはま」の活動や地域の清掃活動などに取り組んでおります。

工場見学入口にモニターを設置



リアルタイムに発電量を表示

やまがた絆の森活動

酒田港クリーンアップ作戦への参加

環境保全推進賞

有限会社家具のヤマヒョウ（山形市）

家具再生・家具小売業　代表取締役　井上　英俊

＝家具の再生・販売で森林保全に貢献＝

1968 年に、家具総合インテリア業を創業し、家具の開発・製造、販売を手掛けました。2008 年に家具の修理専門店を立ち上げ、経年劣化や使用により傷んだ家具の修復再生の取り組みを開始しました。その後、古い和箪笥の修復方法、利活用などを無料で診断する「和箪笥診断」を開始しました。2022 年に、店舗や倉庫に在庫として長年保管されてきた家具を、消費者の意向に沿った価格に再設定し販売する「森を育てる家具の市」を開催し、その売上金額の 50%を山形県「緑の募金」に寄付し、家具の主要材料である木材を産み出す森林の保全に繋げました。

和箪笥修復職人

和箪笥診断サービス

和箪笥再生事例

山形県内和箪笥生産地

選考委員特別賞

水澤化学工業株式会社水沢工場（鶴岡市）

無機化学製品製造業　工場長　岩崎　信幸

＝地域に密着した活性白土事業活動、社会発展と環境保全に貢献する製品の提供＝

1937 年創業以来、天然粘土（酸性白土）を原料とした活性白土を中心に、事業を継続しております。酸性白土の産地である山形県鶴岡市に工場を構え、開発のために伐採した樹木は再生利用し、開発が終了した土地は緑地化しております。この活性白土は、吸着性能を利用し主に食油精製用途に、また触媒機能を利用して石油精製用途でも使用されています。活性白土は、酸性白土を酸処理して得られますが、生じた排酸は浄水剤として再生して水質汚濁の低減に役立て、同様に生産工程で発生する副生成物は土壌改良材として再生利用し、廃棄物を出さない技術を確立しています。

1964 年頃から、塩化ビニル用安定剤（複合安定剤）の本格的な製造を開始し、以来、加工性、耐久性などの付加価値を高めた新製品を開発・販売してきました。また、酸性白土を原料としたダイオキシン除去剤や家畜の飼料に含まれるカビ毒吸着剤などの環境汚染・有害物質の吸着剤開発に成功しており、大気汚染防止や食品の安全などに貢献しています。

酸性白土を原料とした活性白土の生産

活性白土生産時に発生する排酸は浄水剤、中和ケーキは土壌改良剤として再利用

ポリ塩化ビニル用安定剤の生産

その他、土壌改良剤、ダイオキシン吸着剤など酸性白土製品を生産